



園だより（年長つき組）

小田原市立下中幼稚園
令和2年6月30日

新学期を迎え、幼稚園が再開し、季節は春から、夏へと移り変わろうとしています。始業式があったものの、今月から久しぶりの幼稚園。さくら組の1年間で身につけてきた生活習慣とは違う新しい園生活のルールや、遊び方に子どもたちがどんな反応をするのか心配していました。しかし、子どもたちの様子を見てみると、最初は戸惑っていましたが、少しずつ新たなルールを覚え、新しい生活の中で楽しみを見つけつつあるようです。また、休園期間中の会えない間に、体だけでなく心もグーンと成長していることを感じました。困ったことがあったときに、自分から言いに来てくれたり、「これやりたい。」と自分でどんどん遊びに取り組みんだりするなど子どもたちそれぞれに成長を感じる様子が見られました。今は、保育の様子を直接見ていただく機会がつかれずいますので、7月の教育相談のときにお話しできたらと思っています。



今月読み聞かせをした絵本の一部です。



色画用紙を使って自画像を作り、当番表として使っています。みんなどことなく自分に似ている？



こんなことをして遊びました



捕まえたダンゴムシをクラスに持ち帰ったことで、ダンゴムシの遊び場を作り、ダンゴムシの動きを観察して楽しみました。

そこから、丸い物が転がることに興味をもち、アルミホイルで作った球を転がすコロコロ装置作りも始まりました。



みんなでお店屋さんごっこをして、作ったお店を壁に飾ったことから、『みんなの町』をテーマに折り紙や絵に描いたものを切り取って飾っています。虫、花、魚、コンビニ、ガソリンスタンドなど様々な物を作っています。



誕生会をしました。みんなから、折り紙のプレゼントを貰ったり、教師の出し物を見たりしました。



畑の草取りをしました。一生懸命、草を取っていると、小さなバッタがいて、草取りに、虫探しに大忙しでした。

園庭では、チョウチョウやダンゴムシを探して捕まえては、じっくり観察していました。



みんなで力を合わせたり、相談したりしながらコースを作り、追いかっこや道で会ったらじゃんけんをしたりしました。

砂場では、穴を掘り、水を入れて温泉ごっこ。友達と一緒に遊ぶと楽しいね。



遊戯室では、新聞紙のボールを使って思いきり体を動かしました。

